

(ホメオパシーとは何か？ 参考資料)

アレピアチン錠 100mg の基本情報(～日経メディカルより)

◆ヒダントイン系抗てんかん薬(作用)

脳内で興奮性シグナルとして作用する Na<sup>+</sup> イオンによる神経細胞の異常な興奮を抑えることで、てんかんの発作などを抑える薬

◎効能・効果

自律神経発作・精神運動発作・てんかんの強直間代発作・てんかんのジャクソン型発作・てんかんの焦点発作・てんかんの大発作・てんかんの全般けいれん発作

●注意すべき副作用(難病)

- ・中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis/TEN:ライエル症候群とも呼ばれる)
- ・Stevens-Johnson 症候群(皮膚粘膜眼症候群)／発熱・紅斑・水疱・びらん・そう痒感

●重大な副作用(難病指定されている病気が多く含まれる)

- ・中毒性表皮壊死融解症
- ・皮膚粘膜眼症候群、
- ・Stevens-Johnson 症候群／発熱・紅斑・水疱・びらん・そう痒感
- ・咽頭痛・眼充血・口内炎・過敏症症候群・発疹・リンパ節腫脹、
- ・臓器障害
- ・白血球増加・好酸球増多・異型リンパ球出現、
- ・遅発性の重篤な過敏症状、
- ・ヒトヘルペスウイルス 6 再活性化・HHV-6 再活性化・ウイルス再活性化(免疫低下)、
- ・SLE 様症状(全身性エリテマトーデス)
- ・関節痛・肺炎・白血球減少・血小板減少・抗核抗体陽性・再生不良性貧血・汎血球減少・無顆粒球症・単球性白血病・溶血性貧血・赤芽球癆、
- ・劇症肝炎・黄疸・著しい AST 上昇・著しい ALT 上昇・著しい  $\gamma$ -GTP 上昇・重篤な肝機能障害、
- ・間質性肺炎・咳嗽・呼吸困難・胸部 X 線異常・肺臓炎、
- ・悪性リンパ腫・小脳萎縮
- ・横紋筋融解症・筋肉痛・脱力感・CK 上昇・血中ミオグロビン上昇・尿中ミオグロビン上昇・急性腎障害・間質性腎炎・悪性症候群
- ・意識障害・筋強剛・発汗・頻脈・血清 CK 上昇・ミオグロビン尿・腎機能低下

●その他の副作用

巨赤芽球性貧血・蛋白尿・ジスキネジア・舞踏病アテトーゼ・アステリキシス(asterixis)、ニューロパシー(神経障害)・眩暈・運動失調・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下・神経過敏、不眠・複視・視覚障害・眼振・白内障・歯肉増殖・悪心・嘔吐・便秘・くる病・骨軟化症・歯牙形成不全・血清アルカリフォスファターゼ値上昇・血清カルシウム低下・血清無機リン低下・甲状腺機能検査値異常・血清 T3 値異常・血清 T4 値異常、高血糖・多毛・血清葉酸値低下、免疫グロブリン低下・IgA 低下・IgG 低下